

飼料用トウモロコシの収穫およびサイレージ調製について

8月上旬はやや涼しい日もありましたがお盆以降は暑い天气が続き、飼料用とうもろこしの生育は全体的に良好なようです。9月上旬も30℃を超える高温の日が続いて子実の熟期が進んでいるため、収穫適期が平年より早くなる可能性があります。よく圃場を観察し収穫時期を決定してください。

1 収穫適期

トウモロコシをサイレージ調整用に収穫する場合の収穫適期は単位面積当たりの収量が最も高くなる黄熟期です。収穫したまま生草で牛に給与する場合は乳熟期から糊熟期が収穫適期になります。

黄熟期を判定するには「ミルクライン」による方法が簡単です。トウモロコシの子実の白い部分と黄色い部分の境界が「ミルクライン」で、この線が子実の中央にくる時期が刈り取り適期です。



ミルクラインがほぼ子実の中央部にある黄熟期に当たります。ほぼ圃場全体がこの状態になれば、収穫適期です。

2 サイレージの調製と利用

(1) 調製時の留意点

サイレージの品質は植物体の水分量と糖の含量に大きく左右されます。特に刈り遅れで水分が極端に低下した場合、サイレージの中に空気が混入してカビの発生や変敗の原因になります。そのため水分量や糖度に不安がある場合は収穫、詰め込み時に調製する必要（糖添加やコーンクラッシャー付きの収穫機による穀実の粉碎等）があります。また、詰め込み密度をなるべく上げるため、できるだけ細かく（1～1.5cm）切断する必要があります。詰め込みの際には短時間で実施し、踏圧をかけて空気を追い出してしっかり密封してください。

(2) 開封時の留意点

サイレージは空気に触れると好気性菌の活動により急速に2次発酵が進みます。取り出し面を大きすぎない様に注意し、1日当たり20～30cm程度の厚さでサイレージを取り出すことで変敗を防ぎます。

(3) サイレージの栄養価

トウモロコシサイレージはその年の生育状況や収穫時期により水分量や栄養価が異なります。畜産試験場の飼料分析センター等で品質や成分を評価し、サイレージの内容に合わせた飼料の給与設計をしてください。

